


オールラウンドコーヒーグラインダーEK43/EK43S 取扱説明書 / 保証規定

EK43/EK43S

ALLROUND COFFEE GRINDER

メリタジャパン株式会社

 0570-550267

受付時間: 9:00~12:00 / 13:00~17:30
(土日祝日・年末年始を除く)

Melitta[®]
JAPAN



はじめに

このたびは「マーククーニック
オールラウンドコーヒーグライン
ダーEK43/EK43S」をお買い求め
いただき、誠にありがとうございます。
この機器を正しくお使いいただ
くために、ご使用前に「安全上のご
注意」(P4-6)をよくお読みくださ
い。また、この機器の優れた機能を
十分ご理解いただくためにも、取
扱説明書をよくお読みください。

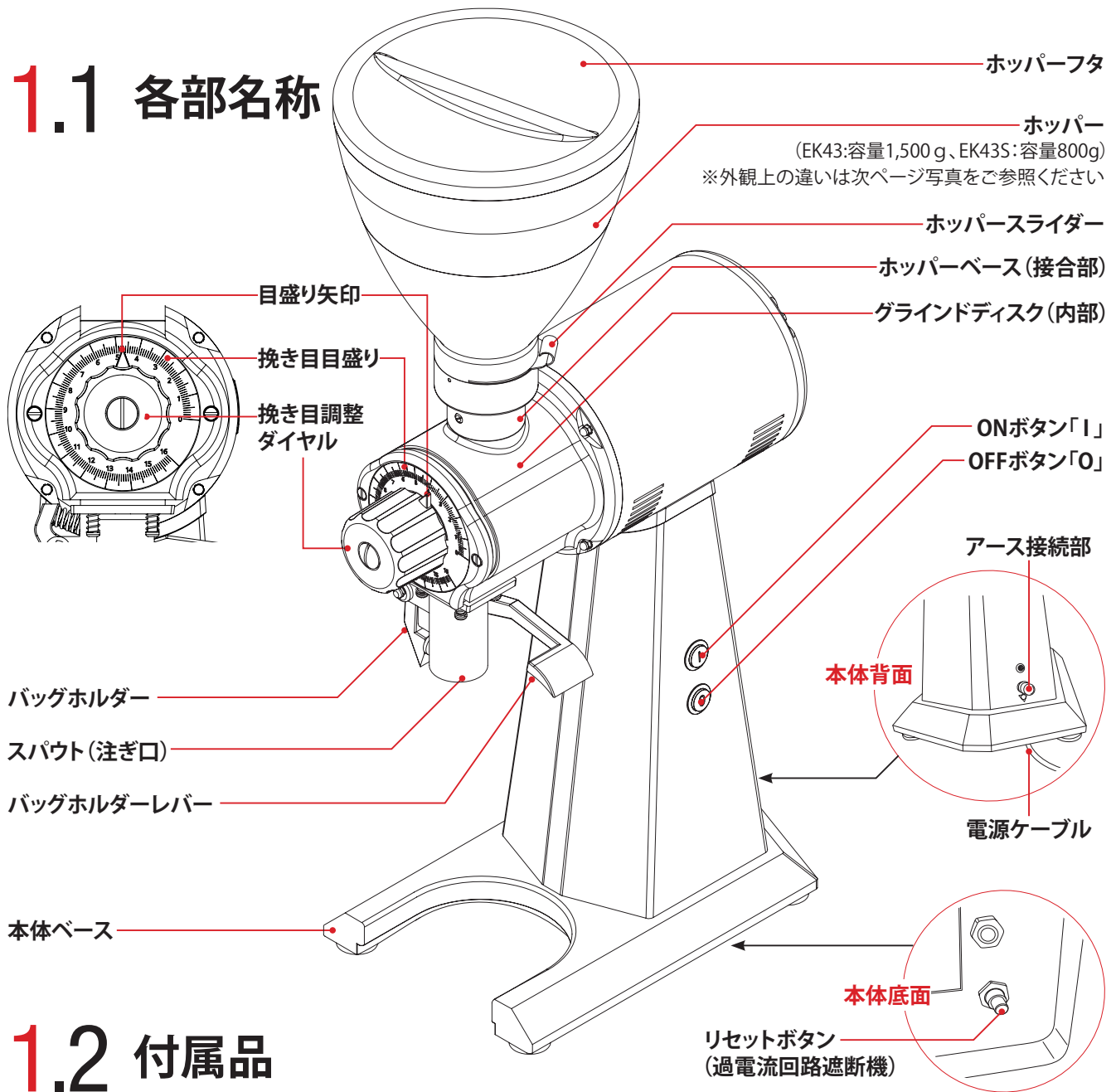


目次

1	製品概要	P2
1.1	各部名称	P2
1.2	付属品	P2
2	製品特長	P3
2.1	製品の特長	P3
2.2	主な仕様	P3
3	安全上のご注意	P4
4	開梱・設置	P7
4.1	開梱	P7
4.2	設置	P7
5	コーヒー豆を挽く	P8
6	グランドディスクの調整 (カリブレーション)	P9
6.1	ゼロ点調整	P9
6.2	ゼロ点調整の挽き目確認	P10
7	クリーニング	P11
7.1	GRANDZ™による内部機構クリーニング	P11
7.2	グラインダー外装のクリーニング	P12
7.3	グランドディスクのクリーニング	P12
7.4	グリース塗布	P13
7.5	クリーニング後の組み立て	P13
8	トラブルシューティング	P14
9	メンテナンスと修理	P15
10	別売品	P16
11	保証規定	P17

1 製品概要

1.1 各部名称

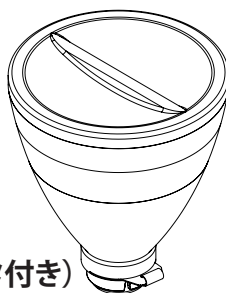


1.2 付属品

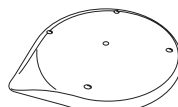


ウェルカムカード

ホッパー(フタ付き)



ドリフトレイ



六角レンチ(3mm)



電源プラグアダプター



info. 本製品を開梱直後に、すべての部品が揃っており各部品に損害がないかをご確認ください。
欠品や破損がみられる部品がある場合は、メリタジャパンお客様相談室までお問い合わせください。

2 製品特長

2.1 製品の特長

オールラウンドコーヒーグラインダーEK43/
EK43Siには以下のような特長があります。

- 98mmの大口径プレミアムキャストスチール製グラインドディスクが均一な挽き目を実現します。
- エスプレッソやドリップコーヒーなど、あらゆる抽出方法に合わせた挽き目調整が可能です。
- グラインドディスクを垂直配置して、コーヒー粉がグラインドディスク内部に残り難い設計です。

挽き目調整ダイヤルの設定目安

コーヒータイプ	ダイヤル設定
エスプレッソ	2～5
ドリップ	8～12
フレンチプレス	14～16

*ダイヤル設定値は目安です。お好みに合わせて設定してください。



2.2 主な仕様

EK43

EK43S

電圧・周波数	100 V 50 / 60 Hz	
消費電力	1300 W	
電流	12.5 A	
回転速度	50 Hz : 1480 rpm 60 Hz : 1740 rpm	
作動音	87 db	
連続挽き時間	40分 ^{*1}	
サイズ(幅×奥行×高さ)	230 × 410 × 830 mm	230 × 410 × 680 mm
本体重量	約 26 kg	約 24.5 kg
ホッパー容量	1,500 g	800 g
カラー	(標準カラー) マットブラック、マットホワイト	

(受注生産カラー) 一度に15台以上発注いただける場合、RALカラー番号を指定していただいで注文を承ります^{*2}

^{*1}:モータープロテクター機能=モーターの作動温度を感知する安全装置により、連続使用などでモーター温度が過度に高くなった場合に本体の電源が切れます。1時間放置し自然冷却後に、本体底面の「リセットボタン」を押すことで再使用が可能になります。^{*2}:詳細はメリタジャパンお客様相談室までお問い合わせください。

3

安全上のご注意

ご使用の前によくお読みのうえ、正しくお使いください。

誤った取り扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」に区分して説明しています。



警告 死亡や重傷を負う恐れがある内容



注意 傷害を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容

お守りいただく内容の種類を下の図記号で説明しています。



してはいけない内容



必ず守ること



警告 火災や感電、けがを防ぐために

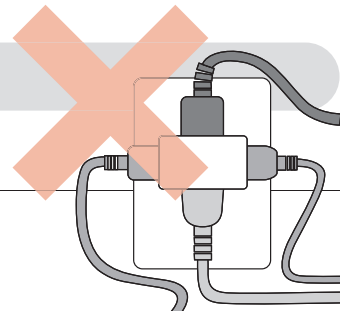
電源について 守らないと火災・感電の原因に



● 定格15A以上のアース端子付きの壁コンセントに本機単独で直接差し込む。



- 交流100V以外では使用しない。
- コンセントを他の器具と併用しない。
- 延長コードの使用やタコ足配線をしない。



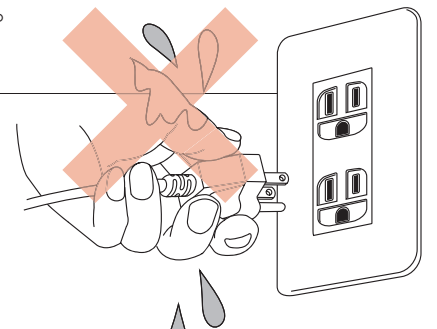
電源プラグ 従わないと感電・ショート・発煙・発火の恐れ



- 電源プラグのほこりなどの汚れは、プラグをコンセントから抜き、乾いた布で定期的に拭き取る。
- 電源プラグを抜くときはコードを持たず、プラグ本体を持って抜き差しする。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかり差し込む。



- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
- 電源プラグに水滴をつけない。
- 傷んだ電源コードや電源プラグの差し込みが緩いときは使用しない。
- 電源プラグにピンやごみを付着させない。
- 電源プラグを舐めない。



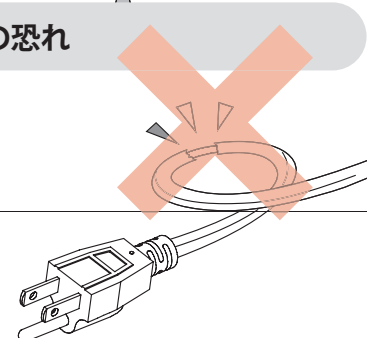
電源コード 気を付けないと感電・ショート・発煙・発火の恐れ



- 電源コードを傷つけない。
- 傷んだコードは使用しない。
- コードを無理に曲げたり、引っ張ったり、重いものを載せたりしない。



- 電源コードは束ねたり、無理に曲げたり、端が鋭い場所の上に置かない。
- 電源コードを持って本体を運ばない。



アース 接続しないと漏電時に感電の恐れ

- ⚠️ ●アース線は必ず壁コンセントのアース端子に接続する。
- 🚫 ●アース線は延長しない。
●アース線は水道管、ガス管、建物の金属部分に接続しない。

本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因に

- ⚠️ ●異常を感じたり、故障したりした場合は直ちに電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて使用を中止する。
●電源プラグやケーブルが傷んでいた、故障や異常があった場合は使用を中止し、メリタジャパンお客様相談室に連絡する。
- 🚫 ●運転中にフタを開けてホッパー内部の豆やカッターに触れたり、顔を近づけない。
●改造しない。
●自分で分解・修理はしない。
●自分で電源プラグを取り替えない。
●本体を水に浸けたり水をかけたりしない。
- ⚠️ ●濡れた手で電源スイッチを入れたり、本体・電源プラグに触れない。

子供 守らないと事故の危険が

- ⚠️ ●子供だけで使用させない。
- 🚫 ●子供の手の届くところで使用しない。
●子供の手の届くところに保管しない。
- ⚠️ ●包装フィルムで子供が遊ばないように注意する。

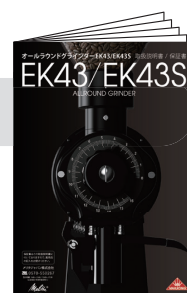
⚠️ 注意 火災や感電、けがを防ぐために

子供・乳幼児 守らないとやけどや感電の危険が

- ⚠️ ●子供が本機で遊ばないように注意する。
●電源コードを子供が引っ張らないように注意する。
●乳幼児が誤って電源プラグを舐めないように注意する。
●運転中は、乳幼児が本機に近づかないように注意する。
●乳幼児がパーツ類で遊んだり、小さな部品を飲み込まないように注意する。

使い方 守らないとやけどや感電の危険が

- ⚠️ ●取扱説明書をよく読んで操作を理解してから使用する。
●本機の方法を理解していない人に使わせない。
●使用しない時は電源プラグを抜く。
●運転中は本機の前から離れない。





- ガスレンジまたはストーブなど暖房器具の近くやホットカーペットの上で使用しない。
- 湿気の多い場所では使用しない。
- 屋外では使用しない。



- 使用前にホッパーに異物が入っていないか確認する。

使い方 守らないと故障の原因に



- ホッパーを持って本体を持ち上げない。
- コーヒー豆を入れたまま長期間放置しない。



- ホッパーからコーヒー豆をあふれさせない。
- ホッパーにローストしたコーヒー豆以外のものを入れない。
- 保護スイッチを指で押して強制的に使用しない。
- ローストしたコーヒー豆を挽くこと以外の目的で使用しない。
- 製品に付属しているか、メリタジャパンが推奨しているアタッチメント以外は使用しない。

本体 正しく扱わないと感電・火災・けがの原因に



- パーツの取り付け・取り外しを行うときは、スイッチを切り、電源プラグを抜いてから行う。



- 落としたり、硬いものにぶついたりしない。
- 電源コードが熱を持ったものに触れたり、近づかないように注意する。
- 電源を入れたまま放置しない。使用後には電源を切る。

設置 守らないと感電・火災・けがの原因に



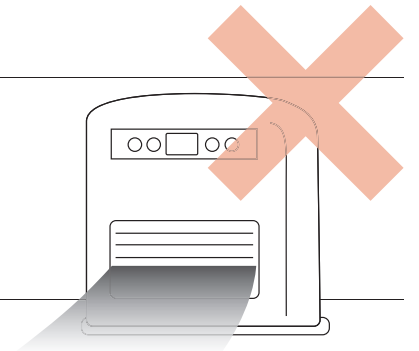
- 頑丈なテーブルなど安定した平らな家具の上に設置する。
- コードがテーブルやカウンターの端にかからないようにする。
- 本体、コード、電源プラグに水がかからないような場所に設置する。



- 不安定な場所に設置しない。
- 傾いた場所、高い場所に設置しない。
- たたみ、じゅうたん、テーブルクロスなど熱に弱い敷物の上に設置しない。
- オープン、暖房器具、コンロなど熱源の近くに設置しない。
- 湿気の多い部屋や流し台の近くに設置しない。



- 開梱時や梱包時に落としたり、硬いものをぶついたりしないよう注意する。



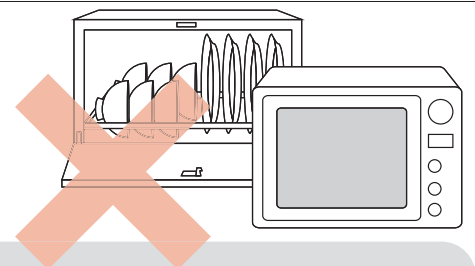
お手入れ 守らないと感電・故障の原因に



- お手入れは取扱説明書の指示に従い、パーツを取り外して行う。
- お手入れは電源スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから行う。



- パーツ類は食器洗い乾燥機で洗浄しない。
- ジェット水、スチームクリーナーやエアダスターで洗浄・清掃しない。
- パーツ類の乾燥に電子レンジを使わない。
- 本体に直接水をかけない。
- カッターは鋭利なので直接手で触れない。



廃棄 守らないと近隣・行政の迷惑に



- 廃棄する場合は市町村のごみ出し基準に従う。

4 開梱・設置

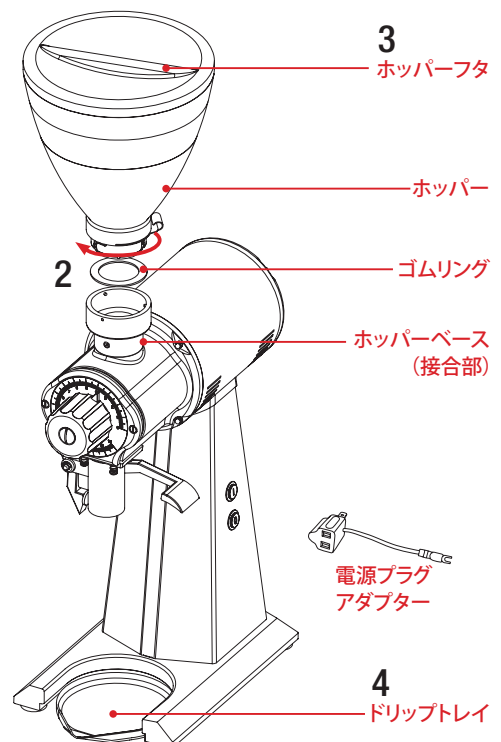
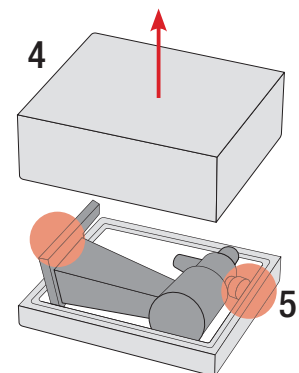
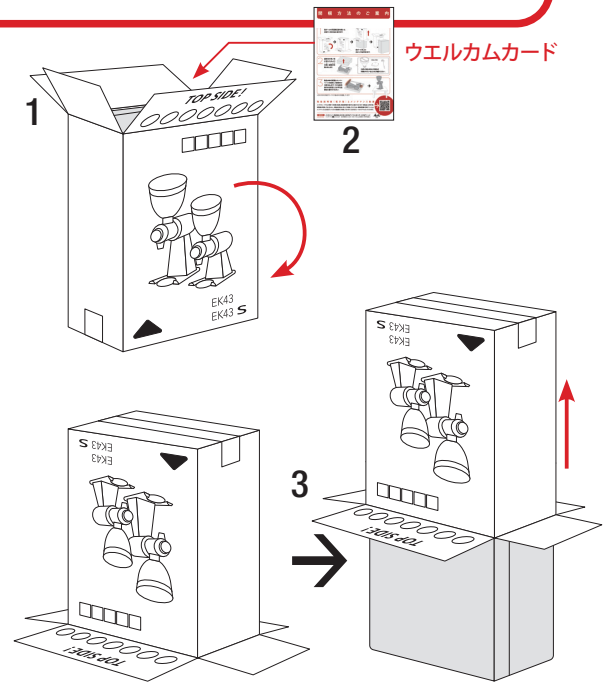
4.1 開梱

- 1 箱の天面を開けます。
- 2 ウェルカムカード(付属品)が入っていることをご確認ください。取扱説明書(本書)・メンテナンス説明用動画にアクセスしていただくQRコードの記載があります。大切に保管してください。
→P2「付属品」
- 3 段ボールの開口部を開いた状態で、天地を逆さにして段ボールを上方向に抜き取ることで、緩衝材に入った製品を取り出します。
- 4 緩衝材の「薄い方が底面」になるように置いて、上面の厚い緩衝材を取り外します。製品本体と付属品をご確認ください。
- 5 製品本体の底面とホッパーベース(接合部)の2点を保持して本体を取り出します。

- ⚠ ●バッグホルダー・バッグホルダーレバーやスパウトを持って持ち上げないでください。バッグホルダーの破損や製品本体の落下につながり危険です。
- グラインダーを湿っている場所や、濡れている場所で使用しないでください。
- 製品をお届けする前に、コーヒー豆を挽いて点検を行っております。クリーニングをして梱包しておりますが、コーヒー粉が残っている場合があります。

4.2 設置

- 1 耐荷重が十分にある安定した水平な設置台に載せます。
- 2 本体にホッパー(付属品)を取り付けます。ホッパーベース(接合部)内のゴムリングを確認して、時計回り方向に回して取り付けます。
- 3 ホッパーにフタを付けます。
- 4 ドリフトレイ(付属品)を本体下部の所定の位置に置きます。



5 コーヒー豆を挽く

1 **ホッパースライダー**が閉じていることを確認して、ホッパーのフタを開け、コーヒー豆を充填してください。

2 **バッグホルダー**にコーヒー粉を受ける袋(またはコーヒーコンテナ)を挟んでセットします。

セットの手順

2-1 **バッグホルダーレバー**を押し下げる。

2-2 **バッグホルダー**と**スパウト**(注ぎ口)の隙間に袋(またはコーヒーコンテナ)を挟む

2-3 **バッグホルダーレバー**から手を放して袋(またはコーヒーコンテナ)を固定する

3 **挽き目調整ダイヤル**をお好みの目盛り位置に合わせます。

●目盛りの数字が小さいほど細挽き(「0」が最も細引き)

●目盛りの数字が大きいほど粗挽き(「16」が最も粗挽き)

4 **電源オンボタン**を押して**グランドディスク**を稼働させます。

5 **ホッパースライダー**をスライドさせて開くと、コーヒー豆がグランドディスク内に落下して挽かれます。

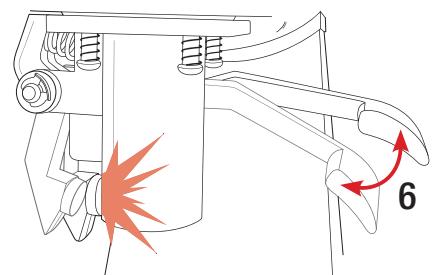
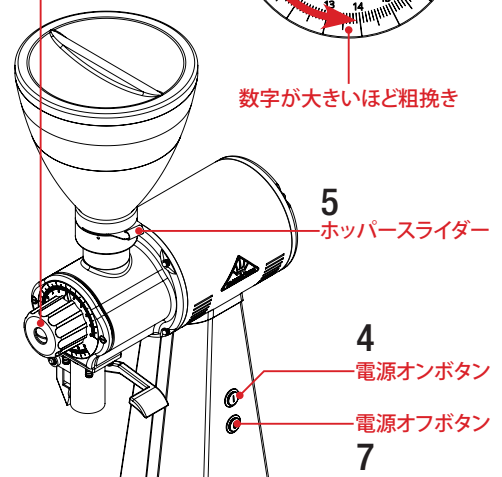
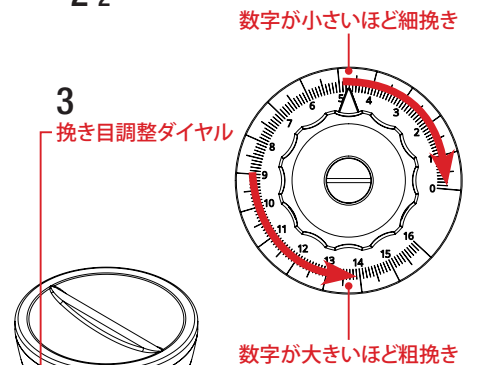
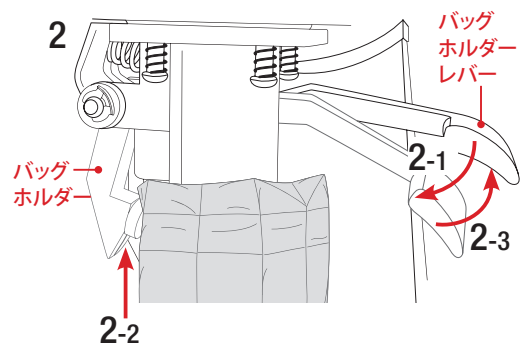
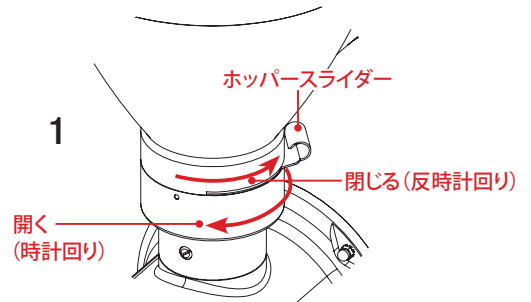
Info. グランド中に、セットした袋を数回軽くたたいてください。
コーヒー粉の体積が整い、袋の容量を最大限に利用できます。

6 セットした袋(またはコーヒーコンテナ)の底部を片手で保持した状態で、**バッグホルダーレバー**を操作して**スパウト**(注ぎ口)に2、3度当ててください。これにより、スパウト内に残っているコーヒー粉を袋内に落とします。**バッグホルダーレバー**は強く叩かないようにしてください。

7 コーヒー豆を挽き終わりましたら、**電源オフボタン**を押してグランドを止めます。

⚠ ●**グランドディスク**と**ホッパーベース**(接合部)の間にコーヒー豆が残った状態のままグランドを止めないでください。コーヒー豆がグランドディスクの間に詰まり、グランドディスクやモーターなどの故障原因になります。

●ホッパー内のコーヒー豆をすべて挽かない場合には(複数回に分けて挽く)、**ホッパースライダー**を開閉させてコーヒー豆の量を調整してください。グランドディスク内のコーヒー豆を挽き終わったことを確認してから**電源オフボタン**を押してください。



6 グラインドディスクの調整 (カリブレーション)

info. グラインダーは製造工場で精密に調整されております。しかし、グラインドディスクは使用時間により少しずつ摩耗するため、最適性能を維持するための調整が必要になります。安定した性能で長期間お使いいただくために、調整(カリブレーション)の励行をおすすめいたします。

6.1 ゼロ点調整

1 グラインドディスクとホッパーベース(接合部)にコーヒー豆やコーヒー粉が残っていないことを確認します。豆や粉が残っている場合は、電源オンボタンを押してコーヒー豆を残らず挽き切ってください。完全に挽き終わってから電源オフボタンを押してグラインダー稼働を止めます。

2 ホッパースライダーを閉じます。

3 挽き目調整ダイヤルの目盛り「1」に合わせます。挽き目調整ダイヤルに付いている2か所の固定ネジを六角レンチ(3mm)(付属品)で反時計回りに1回転だけ緩めます。

! 1回転(360°)以上緩めないようご注意ください。

4 挽き目調整ダイヤル目盛り矢印を目盛り「0」に合わせます(挽き目が最も細かい設定位置)。

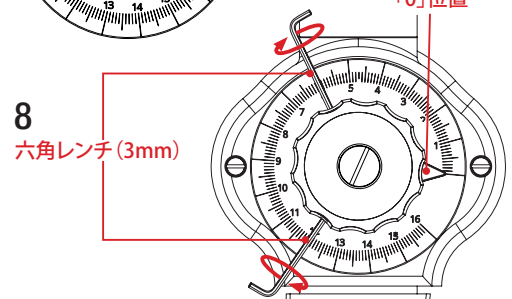
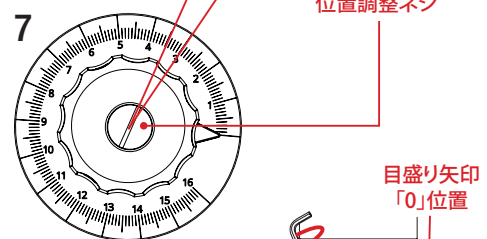
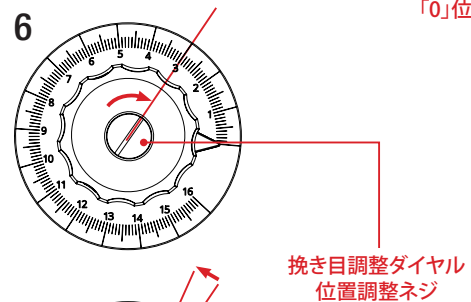
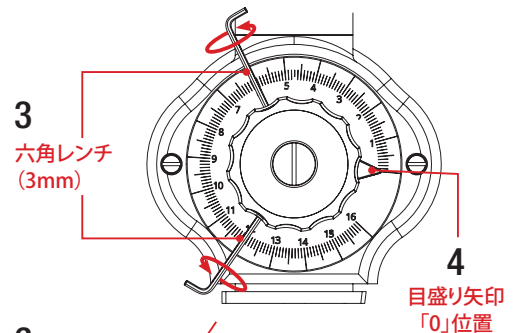
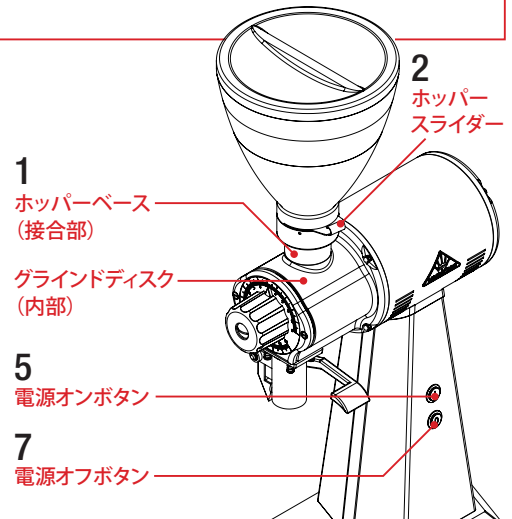
5 電源オンボタンを押してグラインダーを稼働させます。

6 稼働状態のまま、挽き目調整ダイヤル位置調整ネジ(中央部のマイナスネジ)をドライバーで時計回りにゆっくりと締めてください。グラインドディスクが触れ合う金属音(キリキリキリ)が鳴り始めた位置で調整ネジを止めてください。

7 挽き目調整ダイヤル位置調整ネジを反時計回りに「細かい刻み目盛り5つ分だけ」戻します。このとき、挽き目調整ダイヤルの目盛り矢印が目盛り「0」を指していることを確認してください。

8 挽き目調整ダイヤルの2つの固定ネジを3mm六角レンチ(付属品)で時計回りに締めて固定ください。このとき、挽き目調整ダイヤルの目盛り矢印が目盛り「0」を指していることを再度確認してください。

9 電源オフボタンを押して、グラインダーの稼働を止めます。



info.

調整を完了した「0」位置 (最も細かい挽き目) でコーヒー豆を挽いてみて、調整の仕上がりを確認します。

6.2 ゼロ点設定の挽き目確認 (テスト挽き)

- 1 グラインドディスクとホッパーベース (接合部) にコーヒー豆やコーヒー粉が残っていないことを確認します。豆や粉が残っている場合は、電源オンボタンを押してコーヒー豆を残らず挽き切ってください。完全に挽き終わってから電源オフボタンを押してグラインダー稼働を止めます。
- 2 ホッパースライダーが閉じていることを確認して、ホッパーにコーヒー豆を充填してください。
- 3 バッグホルダーにコーヒー粉を受ける袋 (またはコーヒーコンテナ) を挟みます。バッグホルダーレバーを押し下げ、バッグホルダーとスパウト (注ぎ口) の隙間に袋 (またはコーヒーコンテナ) を挟み、バッグホルダーレバーから手を放します。
- 4 電源オンボタンを押してグラインダーを稼働させ、ホッパースライダーを開いて、コーヒー豆を挽いてください。
- 5 すべての豆を完全に挽き終わったら、電源オフボタンを押してグラインダーを静止します。
- 6 調整した目盛り「0」位置で、細挽きのコーヒー粉が思い通りに挽けていることをご確認ください。

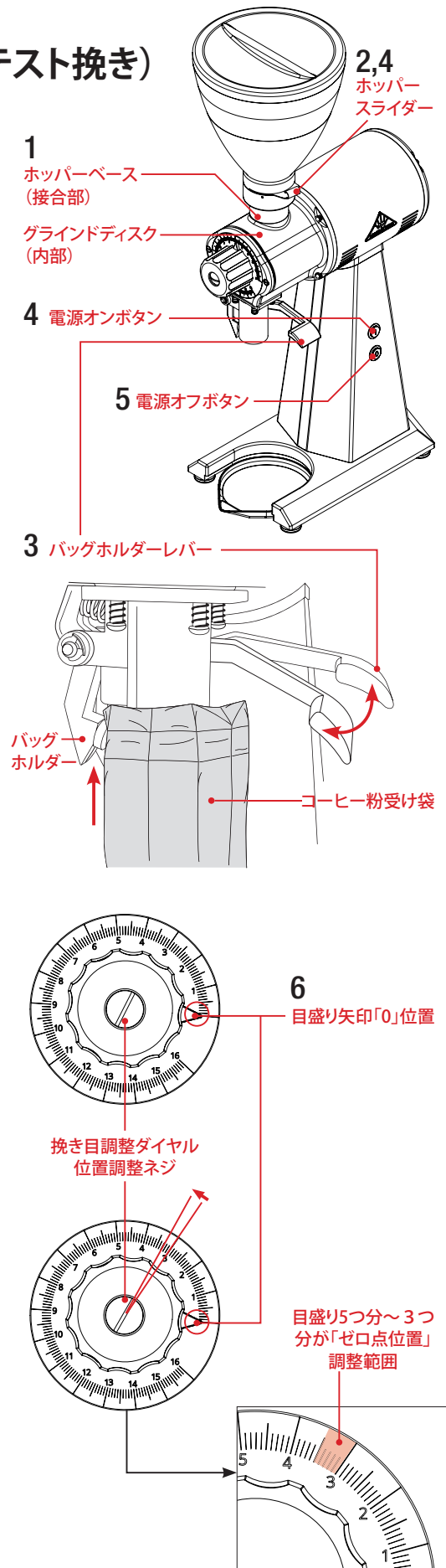
info.

さらに細挽きに調整したい場合: 上記手順「6.1-1」から再開し、手順「6.1-8」の位置調整ネジを反時計回りに戻す「細かい刻み目盛り」を3目盛りか4目盛りに変更します。そして「6.1-9」以降の手順でコーヒー豆を挽いて (テスト挽き) みて「最も細かい挽き目「0」の挽き目具合を再度確認してください。

!

●通常の使用時には、最も細かい目盛り「0」の位置で「キリキリ」と金属音がしない (グラインドディスク同士が接触していない) 状態でご使用ください。金属音が聞こえる状態での使用はグラインドディスクの寿命を短くし、故障の原因にもつながります。

●最も細かい目盛り「0」の位置で挽かれるコーヒー粉が細かすぎる場合は、グラインダーが目詰まりして動作を止める可能性があります。ゼロ点調整の再設定をしてください。

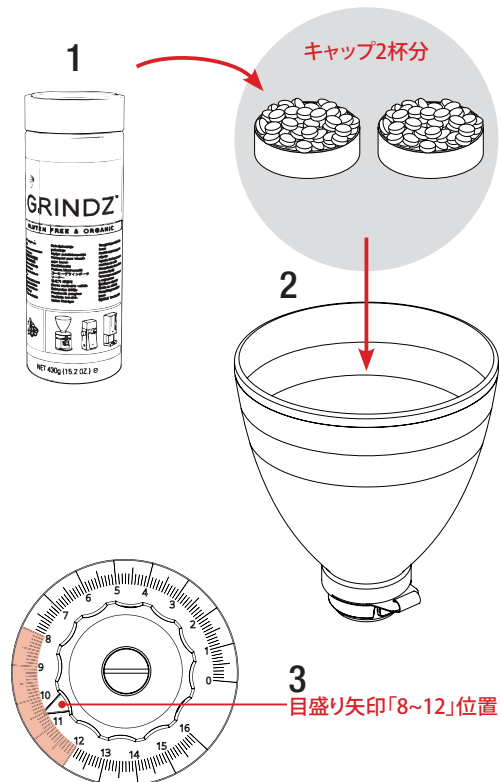


7 クリーニング

⚠ 異物がグラインダー内部に入り込まないようにご注意ください。

7.1 GRINDZ™ による機構内部のクリーニング調整

- 1 本製品のグラインダークリーナーGRINDZ（別売品）の推奨使用容量は1回につき70～80gです。
- 2 グラインダークリーナーGRINDZのキャップでクリーナーの量を計量します。キャップ1杯で35～40gの容量です。本製品には2杯分入れてください。
- 3 本製品を中挽きに設定し（挽き目盛り8～12）、通常のコーヒー豆挽きと同じ手順でグラインダークリーナーGRINDZを挽いてください。
- 4 グラインダークリーナーGRINDZの挽き作業完了後、機構内に残ったクリーナー粉を排出するために、**GRINDZの2倍の量のコーヒー豆（140～160g）**を挽いて排出してください。
- 5 クリーニング挽き作業終了後、挽き目調整ダイヤルをクリーニング前の目盛り位置に戻します。



info. ●本製品を業務用にご使用いただく場合は、1か月に1回の頻度でGRINDZグラインダークリーナーによるグラインダー機構の内部クリーニングを推奨しています。GRINDZは天然素材を原料としており、口に入れても安心です。コーヒーオイルから発生する臭いと油分を除去し、グラインドディスクの性能を安定させ、早期の摩耗を防ぎます。
●本製品で挽いたグラインダークリーナーとコーヒー豆は、家庭用・業務用ごみとして廃棄できます。

7.2 グラインダー外装のクリーニング

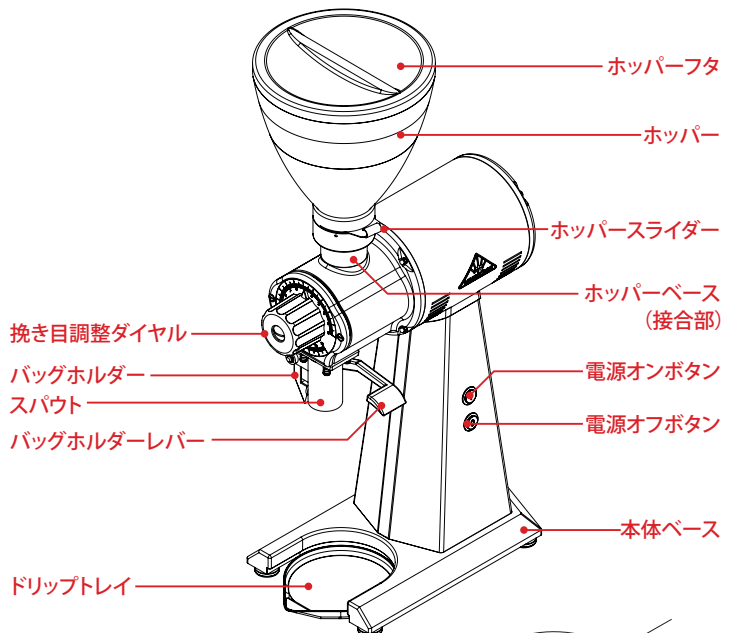


グラインダー外装やグラインドディスクのメンテナンスやクリーニングを実施する場合は、必ずコンセントから電源プラグを外した状態で実施してください。クリーニング実施前に、コーヒー豆を完全に挽ききっていることをご確認ください。

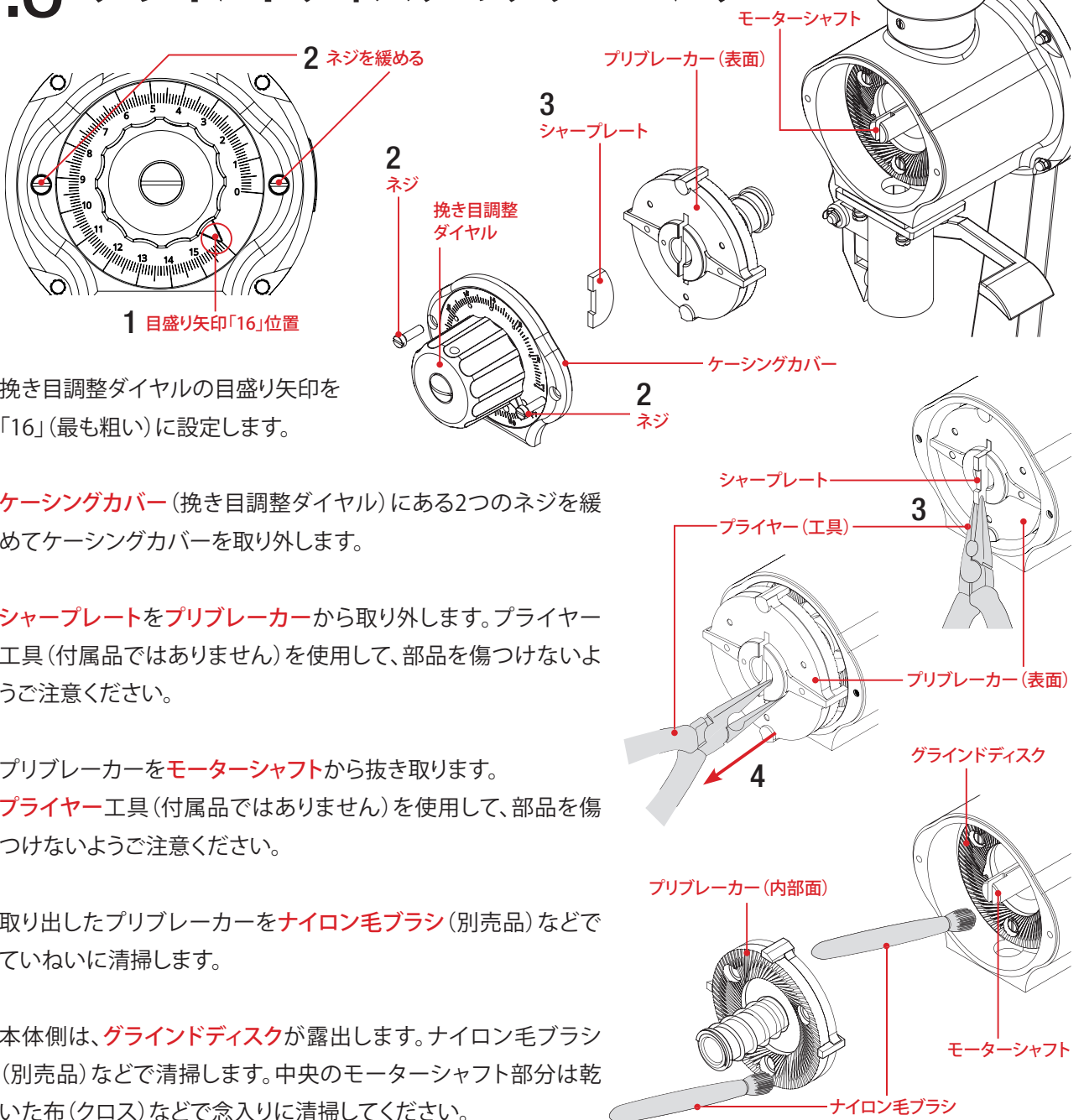
グラインダー外装各部を定期的にクリーニングしてください。乾いた清潔な布で外装各部を拭いてください。ホッパーの内側も乾いた布で定期的に拭いてください。

info. 1週間に1回程度、ナイロン毛のブラシを使った本体を清掃クリーニングをお勧めします。

- ⚠ ●住宅用洗剤や金属たわしなどのクリーニング用具は使用しないでください。
- 本体内部に洗浄液や水が入らないように注意してください。
- 食器洗浄機は使用しないでください。
- ホッパーを持って本体を持ち上げないでください。



7.3 グラインドディスクのクリーニング

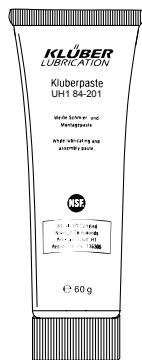


- 1 挽き目調整ダイヤルの目盛り矢印を「16」(最も粗い)に設定します。
- 2 ケーシングカバー (挽き目調整ダイヤル) にある2つのネジを緩めてケーシングカバーを取り外します。
- 3 シャーププレートをプリブレイカーから取り外します。プライヤー工具 (付属品ではありません) を使用して、部品を傷つけないようご注意ください。
- 4 プリブレイカーをモーターシャフトから抜き取ります。プライヤー工具 (付属品ではありません) を使用して、部品を傷つけないようご注意ください。
- 5 取り出したプリブレイカーをナイロン毛ブラシ (別売品) などのでいねいに清掃します。
- 6 本体側は、グラインドディスクが露出します。ナイロン毛ブラシ (別売品) などですばやく清掃します。中央のモーターシャフト部分は乾いた布 (クロス) などですばやく清掃してください。

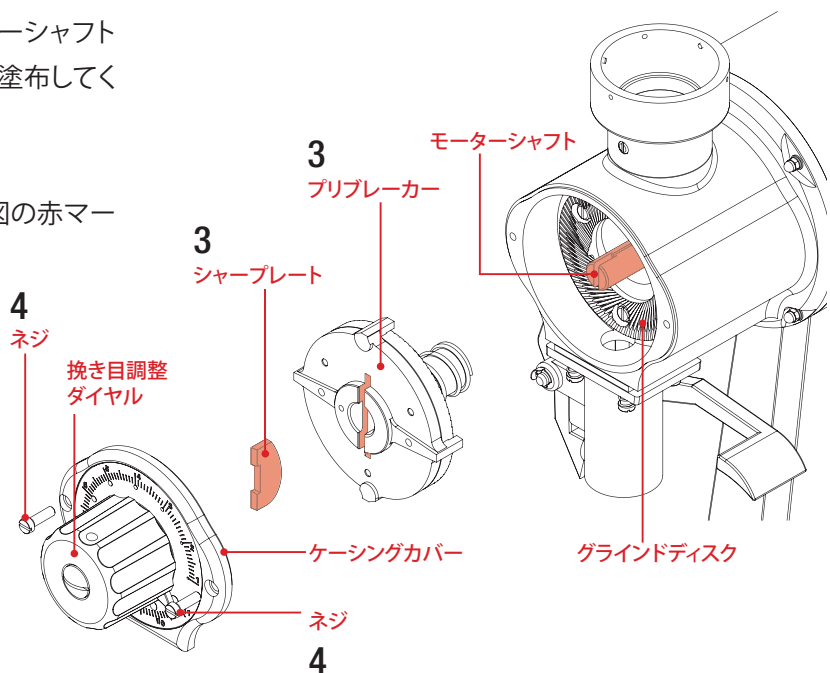
7.4 グリース塗布

モーターシャフトとプリブレーカーのモーターシャフト接続部に**弊社指定グリース**(別売品)を適量塗布してください。

指先にグリースを絞り出して、塗布部分(右図の赤マーク部分)に塗り広げます。

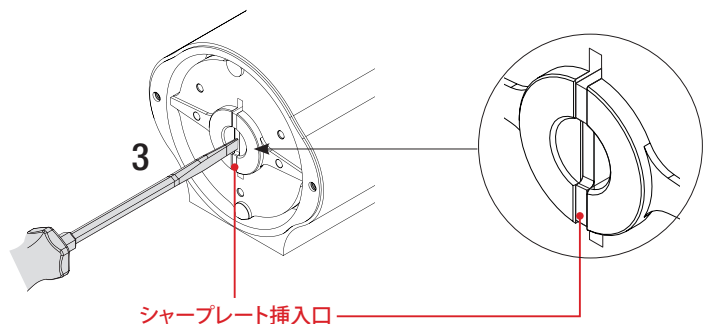
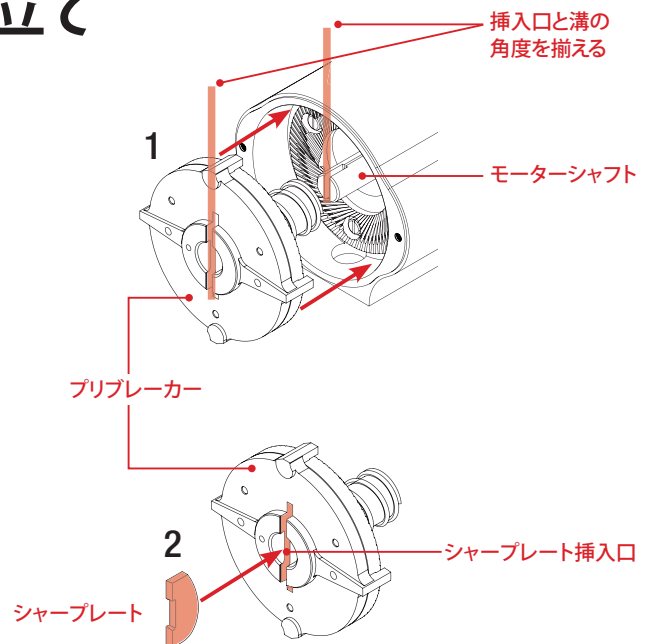


**弊社指定グリース
(別売品)**



7.5 クリーニング後の組み立て

- 1 プリブレーカーをモーターシャフトに戻します。
プリブレーカーのシャーププレート挿入口とモーターシャフトの溝の角度が揃う位置に組み付けます(右図参照)
- 2 シャーププレートにグリスを塗って、挿入窓から挿入しやすいようにします。
- 3 シャーププレートをプリブレーカーの挿入口に合わせて挿入します。モーターシャフトの溝に正確に接続されるように、マイナスドライバーなどを使って完全に奥まで押し込みます。
- 4 ケーシングカバー(挽き目調整ダイヤル)を装着して、2本のネジを締めて固定します。



8 トラブルシューティング

症状	原因	対処方法
グラインダーは動く(作動音は鳴る)が豆は挽けない。	スパウト(注ぎ口)が詰まっている。	スパウト(注ぎ口)付近のコーヒー粉をふき取り、挽き目を粗く設定し直して、グラインドしてください。グラインダーの詰まりが解消されます。その後、好みの挽き目に再調整してください。→P4…「挽き目調整ダイヤルの設定目安」
	グラインダーの挽き目が細かすぎに設定されている。	
グラインダーが動作しない。	異物が混入しています。	取扱い説明書の手順に従って、分解クリーニングを行ってください。→P12…「グラインドディスクの清掃」
	電源プラグがコンセントから抜けています。	電源プラグを適切に設置されたコンセントに差し込んでください。
	リセットボタン(過電流回路遮断器)が作動しました。	本体底面のリセットボタン(過電流回路遮断器)が飛び出していないか確認してください。必要に応じて戻してください。→P3…「各部の名称」 リセットボタンが連続して何度も飛び出す場合は、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。
	モータープロテクター機能が作動しました。	グラインダーの作動を1時間程度休止して自然冷却してください。その後、本体底面のリセットボタンを押して、再稼働してください。→P4…「主な仕様」
グラインダーが動作するが豆を挽かない	家屋のメインブレーカーが落ちています。	家屋の配電盤のブレーカーを確認してください。必要に応じてブレーカーを元の状態に戻してください。同一ブレーカーに他の機器が接続されていないかを確認し、接続されている場合は外してください。
	シャーププレートの破損	グラインダーのケーシングカバーを外して、破壊されたシャーププレートを取り出し、交換してください。ケーシングカバーを戻してください。→P12…「グラインダーディスクの清掃」
グラインダーを動作させた時に異音がする	シャーププレートの振動	通常通りに豆を挽くことができれば基本的に異常ではありません。気になる場合は、シャーププレートを取り出しグリスを塗りなおしてください。→P13…「グリス塗布」
	グラインドディスクの回転が正常ではない	メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください

9 メンテナンスと修理



- 修理には専門的な知識と技術が必要です。誤った修理は火災や感電などの危険な事故につながりますので、お客様ご自身による修理はおやめください。
- メンテナンスや修理を実施する際は、必ずコンセントから電源プラグを抜いてから実施ください。定期的にマシンの電源プラグ、グラインダー本体などにダメージがないかをご確認ください。
- グラインダーのパフォーマンスが低下し、挽いた粉の温度が高い場合は、グラインドディスクの交換が必要な場合があります。ディスクの交換はメリタジャパンお客様相談室にご相談ください。



- P14「トラブルシューティング」の一覧表をお調べいただいてもなお異常がある場合は、事故防止のためグラインダーの使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、メリタジャパンお客様相談室にご連絡ください。その際、品名とお買い上げ時期をお知らせください。
- 16ページに記載している本製品の別売品に関して、修理時に別途ご請求する可能性がありますのでご了承ください。

メリタジャパンの安心・安全な修理サービスのご案内

弊社にて修理を行う際は、お客様ご自身が修理機の一時保管場所を確保したり、自ら梱包して玄関先まで運ぶ必要はありません。修理が終わったグラインダーはお届けの際に設置場所に設置させていただきます。グラインダーをお預かりしてご返却するまでの間、以下の手順で安心安全に取扱います。北海道・本州・四国・九州・沖縄本島を除く離島はサービス対象外となります。サービス対象エリアかどうかご不明な場合には、メリタジャパンお客様相談室にお問い合わせください。

修理機のお引き取り手順

- 1 修理のご依頼はメリタジャパンお客様相談室にお問い合わせ下さい。修理受付・修理機をお引き取りする日時を確認させていただきます。
- 2 メリタジャパンテクニカルセンターからお客様にご連絡をさせていただき、不具合の箇所をお聞きしてグラインダーのお引き取りの手配を進めます。
- 3 お引き取り日までに、ホッパースライダーを閉じて、グラインドディスクとホッパー接合部の間に残っているコーヒー豆を挽き切ってください。ホッパーに残っているコーヒー豆は、ホッパーを取り外して保管をお願いします。
- 4 修理機のお引き取り日当日、弊社指定のヤマトホームコンビニエンス株式会社からお客様にお引き取りに伺う時間帯をご連絡させていただきます。
- 5 弊社指定のヤマトホームコンビニエンス株式会社では、梱包資材を持参し、グラインダーを設置場所から降ろし、安全に梱包して運び出します。配送員が梱包している間に、配送伝票の記載をお願い致します。

修理完了後のご返却手順

- 1 弊社からお客様に修理完了の旨をご報告し、グラインダーのご返却手続きをさせていただきます。
- 2 弊社指定のヤマトホームコンビニエンス株式会社がお預かりしたグラインダーのご返却に伺います。ご不在時には再配達させていただきます。(早朝・深夜の時間帯等、ご希望に添えない時間帯がございますのでご了承ください。)
- 3 弊社指定のヤマトホームコンビニエンス株式会社では、ご返却の際、グラインダーをご希望の設置場所に設置し、梱包資材を回収させていただきます。

10 別売品 (EK43/EK43S 共通)



ホッパー(フタ付き)
容量1,500g
品目コード 38218



ホッパー(フタ付き)
容量800g
品目コード 38149



ホッパー(フタ付き)
容量500g
品目コード 39297



ホッパー(フタ付き)
容量250g
品目コード 39800



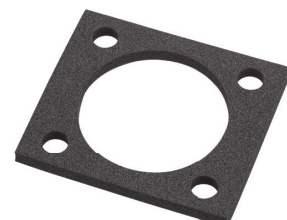
ドリフトレイ
こぼれたコーヒー粉の受け皿
品目コード 40425



アライメントツール
ディスク回転の調整器具
品目コード 322105866



シャーププレート(2個)
プリブレイカー安定器具
品目コード 322700006



スパウトシール
スパウトへの振動を抑える器具
品目コード 39298



コンタクトストライプ
スパウト内の静電気低減部品
品目コード 39296



コーヒーコンテナ
コーヒー粉を受けるカップ
品目コード 40807



グラインツ
内部機構クリーナー
品目コード 1855000



グリース(60g)
内部機構潤滑油
品目コード 39291

11 保証規定

●対象マシン

本取扱説明書に記載のマシン。

●保証サービス規程 (持込「宅配」修理サービス)

メリタジャパン株式会社(以下「メリタ」といいます。)は、本取扱説明書記載のマシン(以下「本製品」といいます。)を対象として、以下の保証サービス規程に定めるところに従い、無償修理を提供します(以下「本保証」といいます。)

第1条.保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカーにより規定される保証規程にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条.保証期間

保証期間は、納入日当月より起算してその翌月から1年間とします。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりメリタより交換品(新品)が提供された場合であっても、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条.保証内容及び費用

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額(以下「保証費用」といいます。消費税込。)が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。なお、修理見積りが購入金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。なお、取り外した部品はメリタの所有となります。

第4条.保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が

満了した場合。

2. 本製品のメーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他本製品のメーカーがその責任により本製品の修理を行えず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、本製品のメーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)
3. 本製品が第三者に転売、譲渡された場合(第7条)。

第5条.お客様のご負担となる主な費用

以下に定める費用は、本保証の保証費用には含まれず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、以下に定める費用は例示であり、本保証の保証費用に含まれない費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、メリタの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する運賃・コレクト手数料等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要となる費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要となる費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や本製品の消耗品についての費用。

第6条.保証修理の依頼方法

1. 保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、メリタジャパンお客様相談室に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。
2. 保証修理に際しメリタが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行う場合があります。この消去につきご同意いただけない場合は、保証修理はいたしかねます。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。その場合は、改めて修理依頼をしていただきますようお願いいたします。

第7条.個人情報の使用

1. メリタは、関係法令に従い、お客様よりご提供いただいた保証項目を含め、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、メリタの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関等)へお客様の個人情報を提供します。なお、個人情報の取扱いの全部または一部を、お客様からの同意を得て他社に委託する場合があります。

- ① 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してメリタと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
- ② 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として行う、お客様に対する電子メール、郵便物によるアンケート調査の結果。

③ サービス案内およびキャンペーン等の実施の場合。

④ 本保証の品質向上を目的として行う、お客様における本保証の利用に関する情報の収集、分析の結果。

⑤、ご提供いただいた個人情報をご第三者へ提供することにつきお客様のご同意をいただいた場合。

2. お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止および第三者への提供の停止（以下「開示等」といいます。）に応じます。

第8条.間接損害

1. 本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。)並びに他の財物に生じた損害に関して、メリタは一切の責任を負わないものとします。但し、メリタの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。
2. メリタが損害賠償責任を負う場合、債務不履行、法律上の契約不適合責任、不当利得、不法行為、その他請求原因の如何にかかわらず、本製品の購入金額を上限とします。但し、メリタの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第9条.保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとし、原則として有料にさせていただきます。

1. 領収書・納品書のご提示がない場合。
2. お客様又は第三者の故意若しくは過失又は本製品のメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び損傷。
3. 水質、水圧、湿度、温度、設置場所の傾斜、振動など、取扱説明書・仕様書に記載している条件外の使用が要因で発生した故障

及び損傷。

4. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法とは異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損傷。
5. 本製品のメーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損傷(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。)
6. 移設、輸送、破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、調波変)、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等)の混入等の外部要因事由に起因する故障及び損傷。
7. 消耗交換に係る費用。
8. 消耗品単体の故障及び損傷。
9. 本製品のメーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損傷。
10. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の所在及び状態が確認できない場合。
11. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装品、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
12. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損傷(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む。)
13. 本製品の仕様、構造上又は本来の性質に基づく制限、不利益等。
14. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
15. メリタが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、本保証の対象となる故障及び損傷の存在を確認できなかった場合。
16. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費

用等。

17. 修理を伴わない調整(点検、味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
18. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
19. 本製品を日本国外に持ち出された場合に生じた故障及び損傷保証修理依頼。
20. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損傷。
21. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損傷。
22. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損傷。
23. 本製品の故障及び損傷に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
24. 本製品をメリタまで修理のために郵送する際、お客様の梱包方法・輸送時の衝撃に起因する故障および損傷。

第10条.その他の注意事項

1. 故障並びに損傷の認定等についてメリタとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、メリタは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品について、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、メリタにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。)に加え、処分に要した費用の一切を、メリタの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第11条.本規程の変更

メリタは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。



Melitta®
JAPAN

www.Melitta.co.jp

